

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2020年10月11日

## 1. 新型コロナパンデミック下の「社会的責任」:ヨーロッパにおけるタバコ産業のトロイの木馬作戦

### 【松崎雑感】

「ショックドクトリン」的なタバコ産業の行状を明かしたコメント文です。  
新型コロナに付け込んで「慈善事業」をおこなう、「紙巻きタバコよりもずっと害の少ない加熱式タバコ」に代えてコロナを吹き飛ばそう的な宣伝手法がヨーロッパで行われています。喫煙者が新型コロナに感染すると重症化することは確立していますので、タバコ産業の言説に惑わされず、一刻も早く禁煙しましょう！

## 新型コロナパンデミック下の「社会的責任」： ヨーロッパにおけるタバコ産業のトロイの木馬作戦

Girvalaki C (European Network for Smoking and Tobacco Prevention, Brussels, Belgium), Mechili EA, Loghin CR, Filippidis FT. **Social responsibility during the COVID-19 pandemic: Tobacco industry's trojan horse in Europe.** *Tob Prev Cessat.* 2020 Jun 15;6:37. doi: 10.18332/tpc/123244. PMID: 33033787; PMCID: PMC7537474.

タバコは毎年800万人以上の人命を奪っている[1]。喫煙者は新型コロナで重症化しやすい[2,3]。したがって、重症化を防ぐために禁煙を進めることが公衆保健上の優先課題であることは疑いない[1]。新型コロナという緊急事態に対応する必要があるとはいえ、タバコ産業が社会的責任活動(CSR)を通じて企業イメージを改善しようとする策動に対する監視を怠るべきでない[4]。

タバコ産業のイメージ改善戦略に基づいた「社会貢献活動」および「より安全なタバコ」販促活動の現状を調べるために、喫煙とタバコ防止のための欧州ネットワーク(ENSP)は、ヨーロッパの構成員にオンライン質問票調査を行った。22か国から返信があり、14件(63.6%)がタバコ産業の宣伝戦略についての情報を寄せた。

British American Tobacco (BAT)が葉たばこを用いて新型コロナワクチン開発を行うというニュースは、世界に拡散された。ベルギー、フランス、ジョージア、ギリシア、リトアニア、ルーマニア、スペイン、オランダ、イギリスのENSPメンバーからこのことが報告された。ニコチンが新型コロナウイルス感染を防ぐと主張するプレプリント論文についても法外に大きな報道が行われたという[5]。

国別の状況を紹介する。

●ブルガリア：フィリップモリス・ブルガリアは新型コロナ対策を行うBCause Foundation に15万ユーロ(1800万円)を寄付した。この寄付のニュースは、加熱式タバコの使用を勧めるフィリップモリス・インターナショナルとフィリップモリス・ブルガリアのリーダーシップの賞賛を付け加えて拡散された。フィリップモリス・ブルガリアは、ArtActionイニシアティブという有名な芸術活動に資金を出している。

●フランス：BATとPMIは新型コロナ対策を行う地域と団体に財政支援を行おうとしている。

●ジョージア：PMI、BAT、JTIはそれぞれ3万ドルずつコロナ対策のためのStopCov財団に寄付を行った。BATは300名のジャーナリストと500名の救急医療スタッフにフェイスシールドを配った。

●ギリシア: PMI子会社のPapastratosとギリシアのタバコ協会Kareliaはそれぞれ50台の人工呼吸器をギリシアの医療機関に贈った。

●イタリア: PMIは100万ユーロ(1億2400万円)を医療用品、救急薬品購入資金としてCivil Protectionに寄付した。さらにアイコスクラブの登録会員である従業員、タバコ小売業者、顧客への寄付を倍増するためにSNSを通じて#DueVoltePiùVicini (#TwoTimeCloser)キャンペーンを打ち出した。

●リトアニア: フィリップ・モリス・バルトは11万ユーロを前大統領グリバウスカITE氏が主宰する新型コロナ救援基金に寄付した。しかしこれはリトアニアでは違法行為である。さらにフィリップ・モリス・リトアニアはクライペダ市域で市のソーシャルサービスセンターと共同で住民に食料を配布していると宣伝している。

●ルーマニア: PMIは人工呼吸器や感染予防器具購入費として100万ドルをルーマニア赤十字関連団体に寄付した。さらにルーマニアの著名なNGOダレイエステ・ヴィアタに、多くのセレブを登場させ、ルーマニア・アイコス・クリエイティブ・ハブのブランドの入った手洗い指導用ビデオ制作費を寄付した。5月20日はヨーロッパにおけるメンソールタバコ販売終了日だが、それに向けて、BATとPMIは加熱式タバコのオンラインキャンペーンを開始した。加熱式タバコではメンソール銘柄が禁止されていないことを強調したものである。

- スイス:BATは軍の現役スイス兵にスモークレスタバコを無料で配布した。
- トルコ:PMIとJTIは全国的新型コロナ救済キャンペーンに寄付した(67万5千ドル、18万ドル)。

多くのタバコ販売実店舗が閉鎖されたが、ヨーロッパ全体で無料配布も含むオンライン販売が続けられている(キプロス、ルーマニア、ウクライナなど)。タバコ産業は、既存のメディアとソーシャルメディアを通じても販売促進活動を継続している。

以上の例が示すように、タバコ産業は、企業イメージをアップさせ、反対世論を鎮静させ、自分たちが社会的責任を果たす企業であることを宣伝し、政府の後押しを受け、加熱式タバコの販売促進を進め、あわよくばタバコ使用に再び市民権を獲得しようと策動している。

世界各国の政府が経済後退のために限られた財政の中でこのパンデミックに対応しようと苦慮しているため、どのような支援でもありがたいと思うのは無理もないと考える。しかし、われわれは、すべての国の政府に対して、WHOタバコ規制枠組み条約第5条3項を誠実に遵守することを要請する。この条項は、健康のための政策が「タバコ産業のあらゆる商業的利益」のために曲げられることなく、禁煙を推進することを条約加盟国に義務付けている[6]。

それなしには、各国政府が人類の死亡の主要原因であると同時に、新型コロナウイルス感染症の重症化をもたらすタバコ製品使用から人々を守るための能力と信頼性を確保することはできない[3,7]。市民社会、メディアそして公衆保健に携わるすべての個人と組織は、人々の健康を守る課題を常に意識して行動する必要がある。現在のレベルのタバコ使用により命を落とす人々の数は、新型コロナウイルス死亡よりもずっと多いことを肝に銘じてタバコ対策を進めるべきである。

## 【引用文献】

1. World Health Organization. WHO Report on the Global Tobacco Epidemic, 2019: Offer help to quit tobacco use. The MPOWER package. <https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/326043/9789241516204-eng.pdf?ua=1>. Accessed May 4, 2020.
2. Mehra M, Desai S, Kuy SR, Henry T, Patel A. Cardiovascular disease, drug therapy, and mortality in Covid-19. *N Engl J Med*. 2020. doi:10.1056/NEJMoa2007621
3. Vardavas CI, Nikitara K. COVID-19 and smoking: A systematic review of the evidence. *Tob Induc Dis*. 2020;18(March). doi:10.18332/tid/119324
4. Global Center for Good Governance in Tobacco Control. Tobacco Industry's COVID Donations vs Economic Cost of Tobacco. <https://ggtc.world/2020/04/23/tobacco-industrys-covid-donations-vs-economic-cost-of-tobacco/>. Published April 23, 2020. Accessed May 4, 2020.
5. Changeux JP, Amoura Z, Rey F, Miyara M. A nicotinic hypothesis for Covid-19 with preventive and therapeutic implications. *Qeios*. 2020. doi:10.32388/FXGQSB
6. World Health Organization. Guidelines for implementation of article 5.3 of the WHO Framework Convention on Tobacco Control. [http://www.who.int/fctc/guidelines/article\\_5\\_3.pdf](http://www.who.int/fctc/guidelines/article_5_3.pdf). Published 2008. Accessed May 4, 2020.
7. Guan W, Ni Z, Hu Y, et al. Clinical characteristics of coronavirus disease 2019 in China. *N Engl J Med*. 2020;382(18)1708-1720. doi:10.1056/NEJMoa2002032